

## 平成 29 年度事業計画

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

欧米の過度な保護主義と経済への影響が話題となる昨今ではあるが、景気は世界的に好調である。そして、それに伴う輸出の続伸（実績）に加え、設備投資、公共投資の増加が見込まれ、景気は明るさを増してくることが予想される。

本年度は、これまでの財務体質の健全化に一定の成果を見ることができたため、本来の活動に一層注力する。そして、その際には、第四次産業革命等に象徴される時代の変化をしっかりと見据え、会員各社が最適なパレット（サービス）を産業界に提供できるように、「協会のあるべき姿」を会員企業、関係協会・団体、関係官庁の視点に立ち、考えることで着実に歩みを進めたい。

以上のような内容を踏まえ、次の事項を活動の主眼とする。

### <本年度活動の主眼>

物流界の労働力不足解消に向けた物流生産性革命等に対応するパレット及び関連物流機器・容器の利用促進

災害に強い物流システム構築に資するパレット及び関連物流機器・容器の利用促進

我が国物流システムの国際展開促進と商取引の国際展開増加に備えたパレット及び関連物流機器・容器の利用促進と製造に関する啓発（一層の品質管理等）

サプライチェーンに内在する様々な社会課題を解決するツール（電子タグ等）の実用化に資するパレット及び関連物流機器・容器の利用促進

パレット及び関連物流機器・容器に関する調査研究

パレット及び関連物流機器・容器に関する品質表示策（JPAマーク認証制度等）推進

パレット及び関連物流機器・容器の製造販売業・レンタル業に携わる人材育成

パレット及び関連物流機器・容器産業に関する情報の収集および提供

パレット及び関連物流機器・容器に関する内外関係機関との交流及び協力

パレット分野に関する規格・基準の作成及び確認

新規会員勧誘活動及び地域活動の拡充

その他、協会目的を達成するために必要な事業（講演会・セミナー等）の随時実施

そして、主眼に基づき次の通り計画（1. 国内活動 2. 国際活動）を策定し収支予算書を計上する。

## <事業計画>

### 1. 国内活動

- 1) 部会活動と協会ホームページを活用した情報共有と意見交換により環境変化（IoT、ビッグデータ、AI 等による様々な変化）への備えに万全を期する
- 2) 物流人材の育成やパレットの有効な利活用に寄与すべく、教育研修事業を確実に進める
- 3) 協会ホームページのバナー広告を活用することで各社の PR を展開し、パレット等の需給マッチングサービスを拡充する
- 4) アジアのパレットの日懇親会の実施やパレットガイドブック販売の他、パレットの認識向上のための幅広い活動により業界全体の PR を図る
- 5) JPA マーク認定制度を充実させ、品質や安心安全の PR の新たな体制構築を目指すと共に、会員の支出に見合った公平なしくみ作りを引続き検討する
- 6) 災害時のパレット及び関連物流機器・容器の有効活用を支援するため、危機管理体制を構築する
- 7) 29 年通常総会と懇親会と 30 年賀詞交歓会を開催する
- 8) 新規会員（正会員、賛助会員、維持会員）勧誘活動の強化

### 2. 国際活動

- 1) アジアシームレス物流フォーラム（5 月中旬 国内）
- 2) APSF アジアパレットシステム連盟 2017 総会（5 月下旬 中国・蘇州）
- 3) 国際パレット会議（11 月下旬 中国）
- 4) ASEAN 物流ワークショップ（時期未定）
- 5) 植林活動（2 月 マレーシア・ボルネオ島）
- 6) 日中韓マーキングシステム専門委員会（複数回開催予定）
- 7) その他、当会の活動に関連する国際活動を適宜実施

以上